

路上再生路盤工 特記仕様書

1. この特記仕様書は、市道新町1号線舗装工事(1工区)に適用する。
2. 本特記仕様書に規定されない諸規定については、舗装再生便覧の規定による。
3. 路上再生路盤工法は、セメント、アスファルト乳剤安定処理工とし、路上において路上再生路盤用添加剤と路上再生用骨材と共に混合し、締め固めて安定処理した路盤を新たに構築するものである。
4. 路上再生用添加剤は、セメント及びセメント混合用アスファルト乳剤を使用するものとする。
5. 配合設計の段階で溶出試験を実施すること。(環境庁告示46号溶出試験)
6. 上記溶出試験において、土壤環境基準(0.05 mg/ℓ)を超えなかった場合は、施工後に溶出試験を行う必要は無い。
7. 火山灰質粘性土を改良する場合においては、上記5、及び上記6のとおりでない。
8. 算出式は次のとおりとする。

路上再生路盤工 設計路盤厚 17 cm

○添加セメント量算出式(100 m²当り)

$$\begin{aligned} \text{面積} \times \text{設計厚} \times \text{設計密度} \times \text{設計セメント量} \times \text{ロス率} &= 100 \text{ m}^2 \text{当り使用量} \\ 100 \text{ m}^2 \times 0.17 \text{ cm} \times 2.1 \text{ t/m}^3 \times 2.5\% \times 1.02 &= 0.91035 \text{ t/m}^2 \\ &\quad 1 \text{ kg 換算} \\ 0.91035 \times 1000 &= \underline{\underline{910 \text{ kg}}} \end{aligned}$$

○混合用乳剤量算出式(100 m²当り)

$$\begin{aligned} \text{面積} \times \text{設計厚} \times \text{設計密度} \times \text{設計セメント量} \times \text{ロス率} &= 100 \text{ m}^2 \text{当り使用量} \\ 100 \text{ m}^2 \times 0.17 \text{ cm} \times 2.1 \text{ t/m}^3 \times 5.0\% \times 1.03 &= 1.83855 \text{ t/m}^2 \\ &\quad 1 \text{ L 換算} \\ 1.83855 \times 1000 &= 1,838.5 \div \underline{\underline{1,839 \text{ kg}}} \end{aligned}$$